

# 業務及び財産の状況に関する説明書類

【2023年3月期】

この説明書は、金融商品取引法第46条の4の規定に基づき、全ての営業所又は事務所に備え置き、公衆の縦覧に供するために作成したものです。

岡地株式会社

## 目次

1. 当社の概況及び組織に関する事項	3
① 商号	3
② 登録年月日及び登録番号	3
③ 沿革及び経営の組織	3
(1) 会社の沿革	3
(2) 経営組織	5
④ 上位10位までの株主の氏名等	6
⑤ 取締役及び監査役の氏名並びに役職名	6
⑥ 政令で定める使用人の氏名	6
⑦ 業務の種別	6
⑧ 本店その他の営業所又は事務所の名称及び所在地	6
⑨ 他に行っている事業の種類	6
⑩ 苦情処理及び紛争解決の体制	6
⑪ 加入する金融商品取引業協会及び対象事業者となる認定投資者保護団体の名称	7
⑫ 会員又は取引参加者となる金融商品取引所の名称又は商号	7
⑬ 加入する投資者保護基金の名称	7
2. 業務の状況に関する事項	7
① 当期の業務の概況	7
② 直近の三事業年度における業務の状況を示す指標	8
3. 直近の二事業年度における財産の状況に関する事項	9
① 経理の状況	9
(1) 貸借対照表	9
(2) 損益計算書	13
(3) 株主資本等変動計算書	15
② 借入金の主要な借入先及び借入金額	18
③ 保有する有価証券(トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券は除く。)の契約価額、時価及び評価損益	18
④ デリバティブ取引(トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券は除く。)の契約価額、時価及び評価損益	19
⑤ 財務諸表に関する監査法人等による監査の有無	19
4. 管理の状況に関する事項	19
① 内部管理の状況の概要	19
(1) お客様からのご相談、お問い合わせ、苦情等に対する取扱い	20
(2) 内部監査体制	20

② 区分管理及び分別管理の状況.....	20
5. 連結子会社等の状況に関する事項.....	21
① 金融商品取引業者及びその子会社等の集団の構成.....	21
② 商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の金額、事業の内容等.....	22

1. 当社の概況及び組織に関する事項

① 商号

岡地株式会社

② 登録年月日及び登録番号

令和3年10月22日（登録番号：関東財務局長（金商）第3296号）

③ 沿革及び経営の組織

(1) 会社の沿革

年 月	概 要
昭和26年 2月	愛知県名古屋市中区下園町(現：中区錦)に岡地貞一商店を設立し、名古屋繊維取引所商品仲買人(現：商品先物取引業者)として事業を開始
昭和27年 5月	岡地貞一商店を岡地株式会社に改組、資本金6百万円
昭和28年 4月	本店を愛知県名古屋市中区南伊勢町(現：中区栄)に移転
昭和31年 5月	資本金を1千万円に増資
昭和34年 4月	東京営業所(旧：東京支店)設置
5月	東京繊維商品(現：東京商品)取引所加入
昭和35年 2月	大阪営業所(現：大阪支店)設置
12月	神戸生糸(現：堂島)取引所加入
昭和36年 2月	本社旧社屋落成
昭和37年 8月	資本金を5千万円に増資
昭和42年 9月	資本金を1億円に増資
昭和44年 6月	シドニー脂付羊毛先物取引所加入
昭和46年 1月	昭和42年の法改正による登録制から許可制への移行に伴い、農林大臣(現：農林水産大臣)及び通商産業大臣(現：経済産業大臣)から商品取引員(現：商品先物取引業者)の許可を取得
6月	東京ゴム(現：東京商品)取引所に加入
昭和48年 4月	本社(旧：名古屋)新社屋落成
昭和51年 2月	資本金を5億円に増資
昭和54年 8月	昭和50年の法改正による商品取引員の許可更新制度の導入に伴い、商品取引員(現：商品先物取引業者)の許可を更新(以後4年毎に更新)
昭和55年 8月	100%子会社OKACHI (HONG KONG) CO., LTD. を設立し、香港商品取引所会員を取得 現地金融先物取引への顧客の開拓を開始
昭和56年 5月	資本金を8億円に増資
昭和57年 3月	東京金(現：東京商品)取引所に加入
昭和58年 3月	東京支店新社屋落成
昭和59年 5月	資本金を8億8千万円に増資
昭和62年 3月	大阪支店新社屋落成
4月	100%海外子会社OKACHI INVESTMENT (HONG KONG) CO., LTD. (香港)を設立し、香港証券取引所会員を取得。現地証券取引への顧客の開拓を開始

年 月	概 要
平成 3年 8月	平成 2年の法改正による第一種・第二種の区分許可制の導入に伴い、第一種商品取引受託業者（現：商品先物取引業者）として許可を更新（以後 6 年毎に更新）
平成 4年 7月	資本金を 1 0 億円に増資
平成10年 5月	海外先物取引取次ぎ業務を開始
平成16年10月	インターネット商品先物取引開始
平成22年12月	商品先物取引法の改正に伴い、商品先物取引業者として許可を取得
平成29年 1月	商品先物取引業者としての許可を更新（6 年間）
令和 2年 4月	第一種金融商品取引業者として登録
令和 3年 7月	本店を東京（中央区日本橋小網町）に移転
令和 5年 2月	本店を東京（中央区新川）に移転

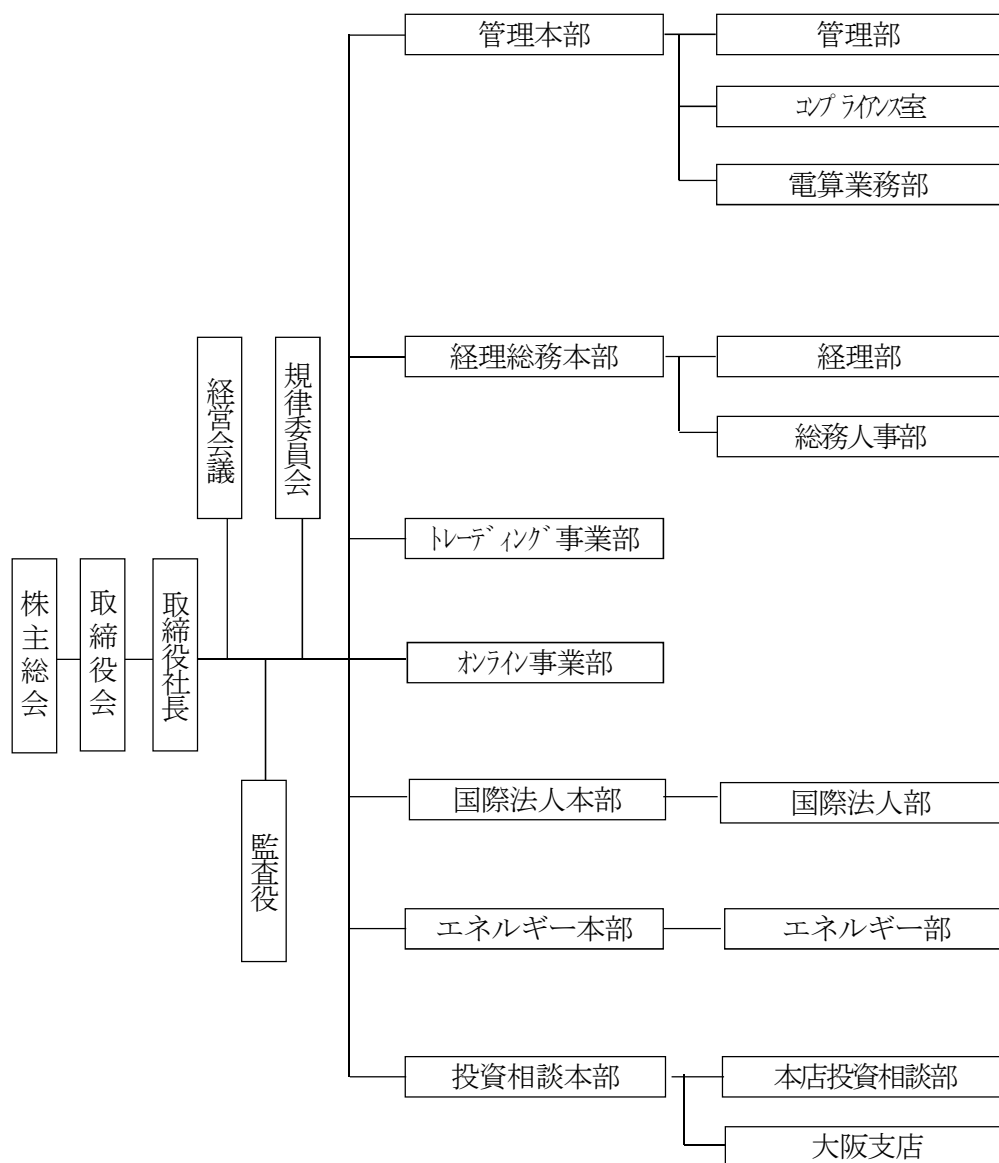
(注) 昭和 5 9 年以前の増資に関しては一部省略して標記しております。

(注) 表中の商品取引所名は当時の名称を記載しております。商品取引所は統合が進み、現在、東京商品取引所、堂島取引所の 2 つに集約されております。また、表中に記載の「商品取引員の許可」は当時の商品取引所法に基づくものであり、現在は、商品先物取引法に基づく「商品先物取引業者の許可」となっております。

現在、当社は大阪取引所の商品関連デリバティブ市場、東京商品取引所及び堂島取引所の商品デリバティブ市場において商品先物取引の受託業務を行っております。

(2) 経営組織

(2023年3月31日現在)



④ 上位10位までの株主の氏名等

(2023年3月31日現在)

氏名又は名称	保有株式数(株)	割合(%)
岡地ホールディングス株式会社	1,369,097	100.0
合計 1名	1,369,097	100.0

⑤ 取締役及び監査役の氏名並びに役職名

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名
代表取締役社長	岡地和道
専務取締役	岡地修一
取締役	近藤益生
取締役	大木太朗
取締役	橋本和典
監査役(非常勤)	山内廣司
計	6名

⑥ 政令で定める使用人の氏名

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名
取締役管理業務本部長	近藤益生

⑦ 業務の種別

金融商品取引法第28条第1項第1号の2に掲げる行為に係る業務  
有価証券等管理業務

⑧ 本店その他の営業所又は事務所の名称及び所在地 (2023年3月31日現在)

店舗の名称	所在地
本店	東京都中央区新川一丁目21番2号
大阪支店	大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目2番15号

⑨ 他に行っている事業の種類

商品先物取引業  
金の現物売買業

⑩ 苦情処理及び紛争解決の体制

第一種金融取引業務

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センターと手続実施基本契約を締結し利用する措置

- ⑪ 加入する金融商品取引業協会及び対象事業者となる認定投資者保護団体の名称  
(手続き実施基本契約を締結する指定紛争解決機関の商号又は名称)  
特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター (F I N M A C)
- (加入する金融商品取引業協会の名称)  
日本証券業協会
- ⑫ 会員又は取引参加者となる金融商品取引所の名称又は商号  
株式会社大阪取引所
- ⑬ 加入する投資者保護基金の名称  
日本商品委託者保護基金

## 2. 業務の状況に関する事項

### ① 当期の業務の概況

当事業年度におけるわが国経済は、前期までの新型コロナウイルスによる感染拡大が一般し入国規制緩和や旅行支援策等の影響により、個人消費等が回復基調となったものの、円安の急激な進行や物価高などが経済回復ペースを抑える要因となりました。こうした中、長期化するウクライナ危機の影響からエネルギーなどの資源高が常態化した事や、先進国を中心にインフレが高進し、急速な金融引き締めや中国のゼロコロナ政策等の影響により、景気後退懸念が高まりました。

金融市場では、円安ドル高が進行し10月には32年ぶりとなる1ドル150円台を付けました。この円安やウィズコロナによる経済活動回復の期待感から日経平均株価は概ね底堅く推移しました。

商品市場では、金価格がウクライナ危機などの影響から1g当たり8,000円の大台を突破し、その後もアメリカのシリコンバレーバンクなどの相次ぐ銀行破綻に加え、スイスの金融大手にも経営不安が広がるなか、比較的安全な資産とされる金が再注目され最高値の更新が続いています。また原油価格は、ウクライナ危機でのエネルギー需給逼迫懸念と、6月の欧州連合(EU)によるロシア産原油輸入の原則禁止を受け70,000円台まで急騰しました。その後は各国中央銀行の金融引締め政策により景気後退懸念から値を下げて推移しております。

当業界におきましては、2022年の国内商品先物年間出来高が、2000万枚を割り込んだ昨年2021年から更に減少し2001年以降で最低の出来高となりました。主力の金が737万枚強(前年比21.8%増)と回復したものの、原油が246万枚強と2年続けて30%を超える大幅減となりました。2020年7月に日本取引所グループ傘下の総合取引所としてスタートして3年目を迎えましたが市場復興の兆しは見られず現在に至っております。

このような状況の中、当社としましては2023年2月に東京本社を移転し、オフィス環境改善による効率的な業務運営を強化するとともに、法令に則った営業活動の強化、新規開拓に向けた新たな戦略、将来に繋がる体制の整備並びに収益構造の更なる多角化に取り組んでまいりました。その結果、令和4年度の受取手数料は8億3,700万円(前年度比22.6%増)となりました。



② 直近の三事業年度における業務の状況を示す指標

(単位：千円)

	第71期 2021年3月31日	第72期 2022年3月31日	第73期 2023年3月31日
営業収益	1,540,536	1,579,824	1,556,251
経常利益又は経常損失	505,919	780,135	750,171
当期純利益又は当期純損失	4,066,110	557,986	490,693
資本金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
発行済株式の総数(株数)	1,369,097	1,369,097	1,369,097
受取手数料	642,683	681,232	837,716
トレーディング損益	897,852	898,592	718,534
その他の業務の状況	—	—	—
自己資本規制比率(%)	235.7	321.0	252.1
使用人(うち外務員)	67(59)	67(59)	61(54)

(注) トレーディング損益には、国内商品市場取引、外国商品市場取引、現物取引等の損益の合計を記載しております。

(注) 使用人等は就業人員数により記載しております。

3. 直近の二事業年度における財産の状況に関する事項

① 経理の状況

(1) 貸借対照表

貸借対照表  
(2022年3月31日現在) (単位：千円)

科目 (資産の部)	金額	科目 (負債の部)	金額
<b>【流動資産】</b>	23,288,918	<b>【流動負債】</b>	22,377,504
現金及び預金	1,961,955	短期借入金	3,700,000
預託金	40,000	1年内返済予定長期借入金	300,000
委託者未収金	250,297	未払金	813,894
有価証券	15,719	未払費用	155,933
保管有価証券	1,706,361	未払法人税等	218,000
委託者先物取引差金	306,527	前受金	8,899
商品	753,407	受渡に係る預り金	5,978
未収入金	925,896	預り金	1,124,655
短期差入保証金	17,148,209	預り委託証拠金	16,050,140
その他の流動資産	194,321		
貸倒引当金	△ 13,779		
<b>【固定資産】</b>	19,531,332	<b>【固定負債】</b>	4,324,834
(有形固定資産)	247,362	長期預り保証金	72,876
建物	66,129	退職給付引当金	105,253
車両運搬具	20,178	繰延税金負債	485,614
器具備品	86,782	資産除去債務	6,837
土地	74,271	その他引当金	586,252
		長期借入金	3,068,000
(無形固定資産)	56,962		
ソフトウェア	54,606	<b>【特別法上の準備金】</b>	73,036
電話加入権	2,355	商品取引責任準備金	71,870
		金融取引責任準備金	1,165
(投資その他の資産)	19,227,008	負債合計	26,775,374
投資有価証券	13,747,087		
関係会社株式	523,867	(純資産の部)	
長期貸付金	4,771,270	<b>【株主資本】</b>	14,895,941
長期預け金	62,005	資本金	1,000,000
長期差入保証金	96,864		
長期未収入金	1,366,472	利益剰余金	13,895,941
その他の投資	60,134	利益準備金	250,000
貸倒引当金	△ 1,400,693	その他利益剰余金	13,645,941
		別途積立金	10,000,000
		繰越利益剰余金	3,645,941
		<b>【評価・換算差額等】</b>	1,148,933
		その他有価証券評価差額金	1,148,933
		純資産合計	16,044,875
資産合計	42,820,250	負債・純資産合計	42,820,250

【貸借対照表に関する注記】

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

(1) 担保資産

(単位:千円)

担保に供している資産		担保に係る債務	
種 類	期末残高	種 類	期末残高
現金	40,000	短期借入金	3,200,000
定期預金	200,000	1年内返済予定の長	
投資有価証券	5,886,978	期借入金	300,000
		長期借入金	1,270,000
計	6,126,978	計	4,770,000

(2) 預託資産

取引証拠金の代用として、次の資産を(株)日本証券クリアリング機構へ預託しております。

保管有価証券	1,706,361 千円
投資有価証券	487,710 千円

2. 有形固定資産の減価償却累計額 758,632 千円

3. 関係会社に対する金銭債権及び債務	短期金銭債権	35,789 千円
	長期金銭債権	4,769,000 千円
	短期金銭債務	80,124 千円
	長期金銭債務	1,798,000 千円

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>【流動資産】</b>	29,546,925	<b>【流動負債】</b>	28,040,578
現金及び預金	1,062,627	短期借入金	4,500,000
預託金	40,000	未払金	2,288,814
委託者未収金	254,747	未払費用	145,303
有価証券	344,405	未払法人税等	72,854
保管有価証券	1,579,196	前受金	7,931
商品	659,058	受渡に係る預り金	11,942
未収入金	362,791	預り金	2,284,129
短期差入保証金	24,843,789	預り委託証拠金	18,708,072
その他の流動資産	411,137	その他の流動負債	21,531
貸倒引当金	△ 10,828		
<b>【固定資産】</b>	19,319,824	<b>【固定負債】</b>	5,860,970
(有形固定資産)	220,147	長期預り保証金	66,640
建物	78,441	退職給付引当金	105,885
車両運搬具	14,452	繰延税金負債	165,570
器具備品	76,982	その他引当金	622,890
土地	50,271	長期借入金	4,899,983
		<b>【特別法上の準備金】</b>	73,036
(無形固定資産)	66,746	商品取引責任準備金	68,927
ソフトウェア	64,390	金融取引責任準備金	4,108
電話加入権	2,355	負債合計	33,974,585
		(純資産の部)	
(投資その他の資産)	19,032,930	<b>【株主資本】</b>	14,483,031
投資有価証券	13,671,726	資本金	1,000,000
関係会社株式	523,867		
長期貸付金	4,630,223	利益剰余金	13,483,031
長期預け金	52,766	利益準備金	250,000
長期差入保証金	112,168	その他利益剰余金	13,233,031
長期未収入金	1,366,472	別途積立金	10,000,000
その他の投資	75,900	繰越利益剰余金	3,233,031
貸倒引当金	△ 1,400,194		
		<b>【評価・換算差額等】</b>	409,132
		その他有価証券評価差額金	409,132
		純資産合計	14,892,164
資産合計	48,866,749	負債・純資産合計	48,866,749

【貸借対照表に関する注記】

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

(1) 担保資産

(単位:千円)

担保に供している資産		担保に係る債務	
種 類	期末残高	種 類	期末残高
現金	40,000	短期借入金	4,200,000
定期預金	200,000	長期借入金	2,570,000
投資有価証券	7,759,087		
計	7,999,087	計	6,770,000

(2) 預託資産

取引証拠金の代用として、次の資産を(株)日本証券クリアリング機構へ預託しております。

保管有価証券	1,595,803 千円
投資有価証券	506,892 千円

2. 有形固定資産の減価償却累計額 763,351 千円

3. 関係会社に対する金銭債権及び債務

短期金銭債権	9,953 千円
長期金銭債権	4,627,000 千円
短期金銭債務	80,598 千円
長期金銭債務	2,029,283 千円

## (2) 損益計算書

損益計算書  
自2021年4月1日  
至2022年3月31日

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		
受取委託手数料	681,232	
売買損益	898,592	1,579,824
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,528,193	1,528,193
営業利益		51,630
営業外収益	782,535	782,535
営業外費用	54,030	54,030
経常利益		780,135
特別損失		
支店閉鎖費用	22,408	
抱合せ株式消滅差損	13,006	35,414
税引前当期純利益		744,720
法人税、住民税及び事業税	198,861	
法人税等調整額	△ 12,128	186,733
当期純利益		557,986

## 【損益計算書に関する注記】

## 1. 関係会社との取引高

## 営業取引による取引高

支払家賃 48,112 千円

派遣料及び出向者給与 143,226 千円

## 営業取引以外の取引による取引高

受取利息及び配当金 12,854 千円

支払利息 4,591 千円

損益計算書  
自2022年4月1日  
至2023年3月31日

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		
受取委託手数料	837,716	
売買損益	718,534	1,556,251
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,574,954	1,574,954
営業利益		△18,702
営業外収益	846,272	846,272
営業外費用	77,397	77,397
経常利益		750,171
特別利益		
固定資産売却益	42,741	42,741
特別損失		
本社移転費用	102,175	102,175
税引前当期純利益		690,738
法人税、住民税及び事業税	193,586	
法人税等調整額	6,457	200,044
当期純利益		490,693

【損益計算書に関する注記】

1. 関係会社との取引高

    営業取引による取引高

        支払家賃 47,272 千円

    営業取引以外の取引による取引高

        受取利息及び配当金 15,244 千円

## (3) 株主資本等変動計算書

## 株主資本等変動計算書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

(単位：千円)

	株 主 資 本							評価・ 換算 差額等	純 資 産 合 計	
	資 本 金	利 益 剰 余 金				自 己 株 式	株 主 資 本 合 計			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金
		そ の 他 利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計						
		利 益 準 備 金	別 途 積 立 金							
当期首残高	1,000,000	250,000	10,000,000	6,305,836	16,555,836	△ 3,190,499	14,365,337	1,068,422	15,433,759	
当期変動額										
剰余金の配当				△ 27,381	△ 27,381		△ 27,381		△ 27,381	
当期純利益				557,986	557,986		557,986		557,986	
自己株式の償却				△ 3,190,499	△ 3,190,499	3,190,499				
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)								80,511	80,511	
当期変動額合計	—	—	—	△ 2,659,895	△ 2,659,895	3,190,499	530,604	80,511	611,116	
当期末残高	1,000,000	250,000	10,000,000	3,645,941	13,895,941	—	14,895,941	1,148,933	16,044,875	

## 【株主資本等変動計算書に関する注記】

## 1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 1,369,097 株

## 2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当事業年度期首株式数	増 加	減 少	当事業年度末株式数
普通株式	432,303 株	—	432,303 株	—



### 3. 配当に関する事項

#### (1) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年 6月24日 定時株主総会	普通株式	27,381	20	2021年 3月31日	2021年 6月25日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
令和4年6月22日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の  
とおり提案しております。

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年 6月22日 定時株主総会	普通株式	903,604	660	2022年 3月31日	2022年 6月23日

株主資本等変動計算書

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

(単位：千円)

	株 主 資 本						評価・ 換算 差額等	純 資 産 合 計
	資 本 金	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金			株 主 資 本 合 計	其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	
			其 他 利 益 剰 余 金		利 益 剰 余 金 合 計			
			別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金				
当期首残高	1,000,000	250,000	10,000,000	3,645,941	13,895,941	14,895,941	1,148,933	16,044,875
当期変動額								
剰余金の配当				△ 903,604	△ 903,604	△ 903,604		△ 903,604
当期純利益				490,693	490,693	490,693		490,693
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)							△ 739,801	△ 739,801
当期変動額合計	-	-	-	△ 412,910	△ 412,910	△ 412,910	△ 739,801	△ 1,152,711
当期末残高	1,000,000	250,000	10,000,000	3,233,031	13,483,031	14,483,031	409,132	14,892,164

【株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 1,369,097 株

2. 配当に関する事項

(1) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年 6月22日 定時株主総会	普通株式	903,604	660	2022年 3月31日	2022年 6月23日

- (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
 令和5年6月28日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年 6月28日 定時株主総会	普通株式	479,183	350	2023年 3月31日	2023年 6月29日

② 借入金の主要な借入先及び借入金額

(単位：千円)

第72期 2022年3月31日			第73期 2023年3月31日		
借入先	借入金種類	借入金額	借入先	借入金種類	借入金額
三菱UFJ銀行	短期借入	1,200,000	三菱UFJ銀行	短期借入	1,800,000
みずほ銀行	短期借入	400,000	みずほ銀行	短期借入	300,000
野村信託銀行	短期借入	1,600,000	野村信託銀行	短期借入	1,700,000
愛知銀行	短期借入	300,000	愛知銀行	短期借入	400,000
中京銀行	短期借入	500,000	中京銀行	短期借入	200,000
三菱UFJ銀行	長期借入	1,270,000	きらぼし銀行	短期借入	100,000
カチホン	長期借入	398,000	三菱UFJ銀行	長期借入	1,270,000
カチンベストメント	長期借入	1,400,000	野村信託銀行	長期借入	1,000,000
			愛知銀行	長期借入	300,000
			中京銀行	長期借入	300,000
			カチホン	長期借入	489,000
			カチンベストメント	長期借入	1,540,000
合計		7,068,000	合計		9,399,983

- ③ 保有する有価証券(トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券は除く。)の契約価額、時価及び評価損益

(投資その他の資産)

投資有価証券

(単位：千円)

第72期 2022年3月31日			
種類	取得原価	貸借対照表計上額	評価損益
株式	115,528	1,525,123	1,409,595
債券	10,963,830	11,221,963	258,133
信託受益権	1,000,000	1,000,000	0
合計	12,079,358	13,747,086	1,667,728

(投資その他の資産) 投資有価証券 (単位：千円)

第73期			
2023年3月31日			
種類	取得原価	貸借対照表計上額	評価損益
株式	101,938	1,399,442	1,297,503
債券	13,134,595	12,282,577	-744,487
信託受益権	1,000,000	1,000,000	0
合計	14,236,533	14,682,019	553,016

④ デリバティブ取引(トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券は除く。)の契約価額、時価及び評価損益

(単位：千円)

区分	種類	第72期(2022年3月31日)			
		契約価額	契約価額から1年超	時価	評価損益
市場取引	商品先物取引				
	売建	17,708,918	—	—	—
	買建	21,579,694	—	—	—
	差引計	—	—	—	-4,513

(単位：千円)

区分	種類	第73期(2023年3月31日)			
		契約価額	契約価額から1年超	時価	評価損益
市場取引	商品先物取引				
	売建	22,331,289	—	—	—
	買建	14,635,731	—	—	—
	差引計	—	—	—	-7,695

⑤ 財務諸表に関する監査法人等による監査の有無

2022年3月期

会社法第436条第2項の規定に基づき、2022年3月期の財務諸表について海南監査法人の監査を受けております。

2023年3月期

会社法第436条第2項の規定に基づき、2023年3月期の財務諸表について海南監査法人の監査を受けております。

#### 4. 管理の状況に関する事項

① 内部管理の状況の概要

当社は金融商品市場の担い手としての社会的責任を認識し、日本証券業協会の規則に基づいて内部管理責任者、内部管理統括責任者を配置し、法令諸規則・社内規程の周知徹底と順守状況を確認するとともに業務の適正性の確保を図っております。

また、法令順守につきましては管理本部、コンプライアンス室の主導により関係法令、諸規則等に関する知識の習得、法令順守意識の向上を目的とした研修を実施してコンプライアンスの強化に努めております。

(1) お客様からのご相談、お問い合わせ、苦情等に対する取扱い

当社ホームページにも「お取引についてのご相談窓口」を掲載して幅広く周知しており、担当者や当社相談窓口及び各関係機関を通じて寄せられたご相談、お問い合わせ、苦情等につきましては「苦情及び紛争に関する紛争処理規程」に基づいてこれらを迅速且つ適正に処理する体制を整えております。なお、寄せられた相談、問い合わせ、苦情等については、取締役会において報告され、再発防止や予防措置の策定を行うための重要な情報として活用しております。

(2) 内部監査体制

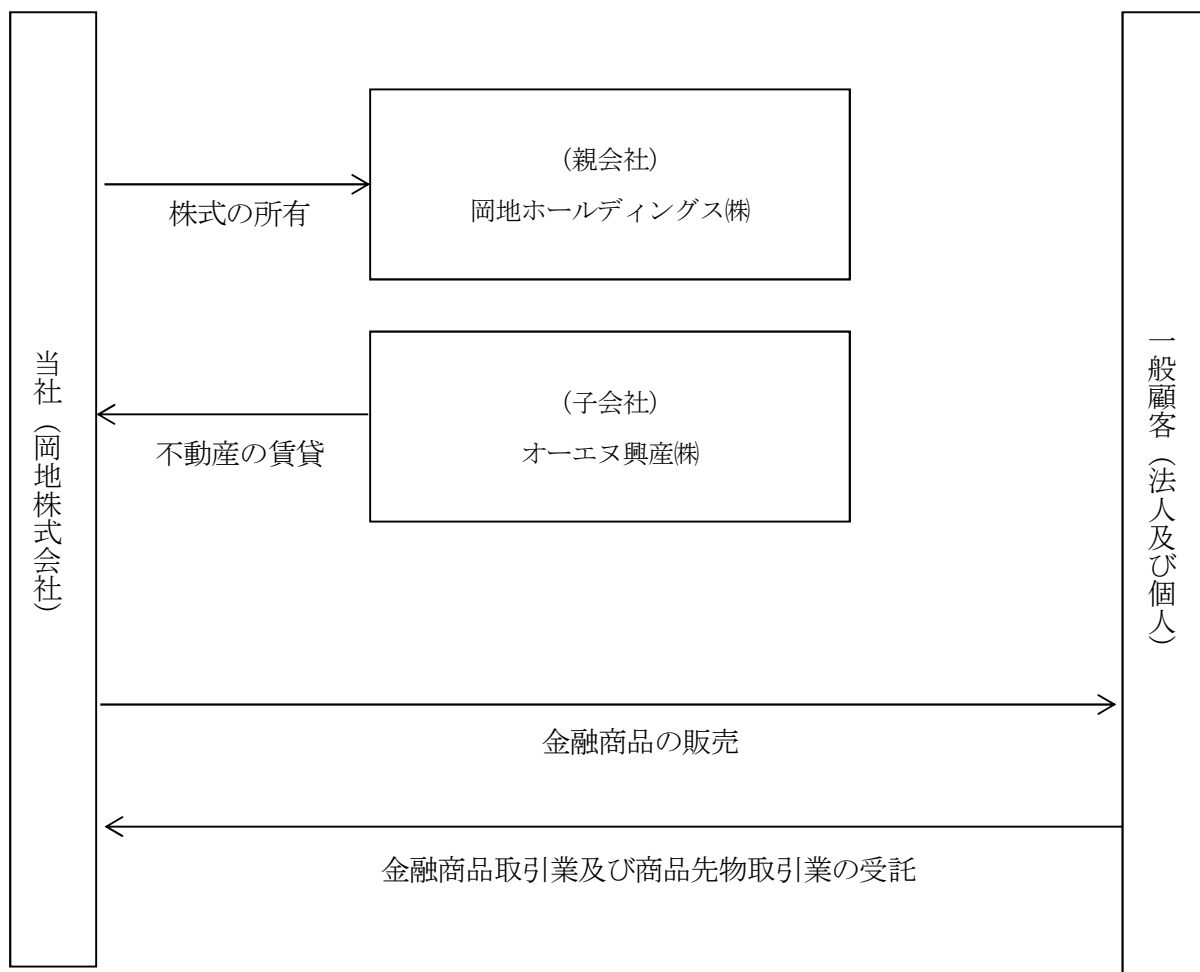
監査法人による監査のほか、「内部監査規程」に基づいて実施することとしており、コンプライアンス室を中心に被監査部門から独立した監査チームを編成し各部門における業務の適正性、法令諸規則・社内規程の順守状況の確認、検証を中心に実施しております。なお、内部監査の結果につきましては随時取締役会に報告する体制となっております。

② 区分管理及び分別管理の状況

商品デリバティブ取引の顧客資産 6,406 百万円につきましては、全額を㈱日本証券クリアリング機構に預託しております。加えて、日本商品委託者保護基金と 1 億円の代位弁済契約を締結しております。

5. 連結子会社等の状況に関する事項

① 金融商品取引業者及びその子会社等の集団の構成



② 商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の金額、事業の内容等

商号又は名称	資本金 (千円)	本店又は主たる事務所の所在地	事業の内容	議決権の保有又は被所有割合 (%)
(親会社) 岡地ホールディングス(株)	30,000	東京都中央区新川 1-21-2	不動産の賃貸借	(被所有) 100%
(子会社) オーエヌ興産(株)	50,000	東京都中央区新川 1-21-2	不動産の所有、賃貸、管理	(所有) 100%
(子会社) 岡地興産(株)	30,000	東京都中央区新川 1-21-2	不動産管理、開発	(所有) 100%
(子会社) OKACHI (HONG KONG) COMPANY LIMITED	91,556	6/F EURO TRADE CENTRE, 13-14 CONNAUGHT ROAD CENTRAL, HONGKONG	香港商品取引所 上場商品の清算 取引等	(所有) 100%
(子会社) OKACHI INVESTMENTS (HK) COMPANY LIMITED	252,900	6/F EURO TRADE CENTRE, 13-14 CONNAUGHT ROAD CENTRAL, HONGKONG	株式売買受託	(所有) 100%
(子会社) OKACHI GROUP (HONG KONG) COMPANY LIMITED	1,613	6/F EURO TRADE CENTRE, 13-14 CONNAUGHT ROAD CENTRAL, HONGKONG	不動産の所有、賃貸	(所有) 100%

(注) 「岡地興産(株)」は休眠中であり、現在業務を行っておりません。

「OKACHI (HONG KONG) COMPANY LIMITED」「OKACHI INVESTMENTS (HK) COMPANY LIMITED」  
「OKACHI GROUP (HONG KONG) COMPANY LIMITED」は清算手続き中であり、現在業務を行っておりません。